

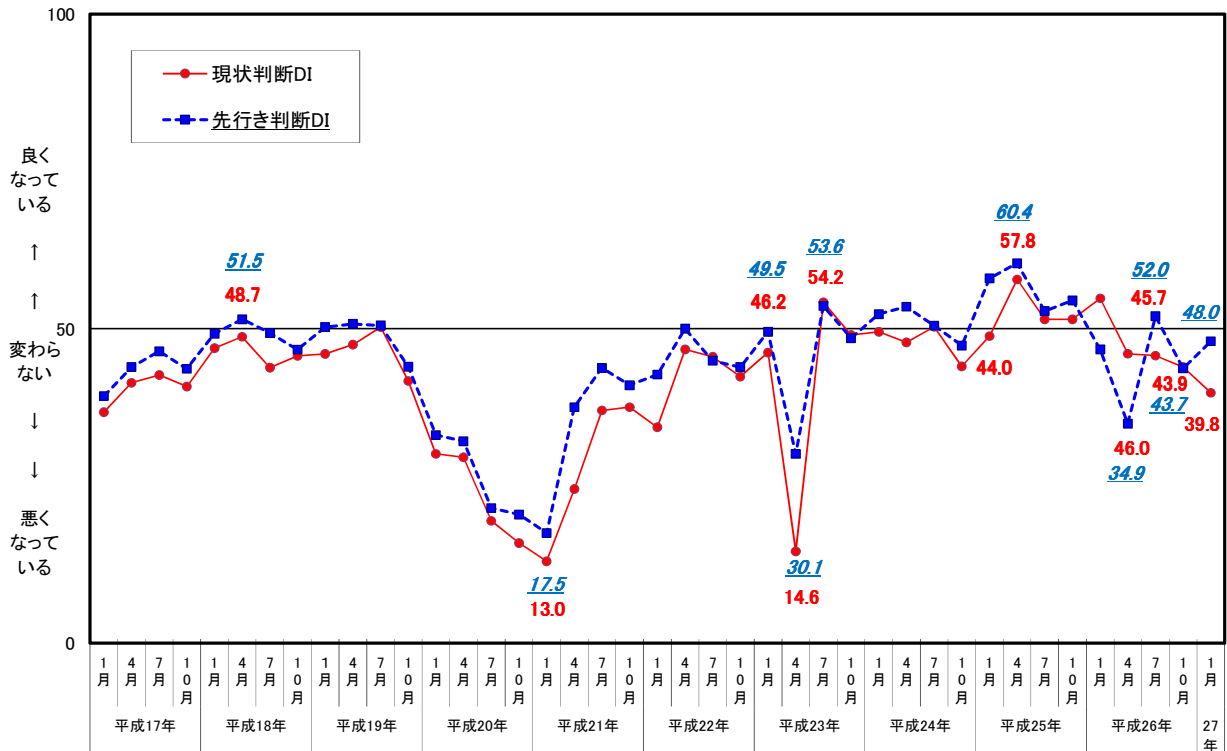
# 青森県景気ウォッチャー調査 (平成27年1月期)

調査期間 平成27年1月5日～1月15日 回答率100%

## 概況

1月期の景気の現状判断DIは39.8と、4期連続で横ばいを示す50を下回った。先行き判断DIは48.0と、2期連続で横ばいを示す50を下回った。

## 景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



平成27年1月

青森県企画政策部統計分析課

# 青森県景気ウォッチャー調査について

## 1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

### (1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

#### ○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

#### ○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニ、百貨店、スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、パチンコ、競輪場、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

### (2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
  - ② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由
- 参考1 景気の現状判断  
参考2 その他自由意見

### (3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

## 3. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、以下の方法により算出している。

景気の現状または先行きに対する5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じ算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が(景気は)「変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性をあらわす目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ  
TEL 017-734-9166 (直通) FAX 017-734-8038

## 1. 結果概要

### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

#### ① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が2.0ポイント減少、「やや良くなっている」が12.2ポイント減少、「変わらない」が16.6ポイント増加、「やや悪くなっている」が5.3ポイント減少、「悪くなっている」が2.9ポイント増加したことにより、全体では4.1ポイント減少の39.8となり、景気の横ばいを示す50を4期連続で下回った。

判断理由では、売上が回復傾向にあるという声の一部にあったものの、消費税増税後の景気の停滞は続いており、地方の景気は回復していないという声や、小売業・飲食業を中心として12月の大雪により来店客数が大幅に減少したなど、悪天候による消費活動の停滞をあげる声が多くあった。

#### ② 分野別の動向

前期調査と比べて、雇用関連で17.9ポイント増加したものの、家計関連全体で5.0ポイント減少、企業関連で9.7ポイント減少した。特に、家計関連の飲食で大幅な減少となった。

#### ③ 地区別の動向

前期調査と比べて、下北地区で増加し、東青、津軽、県南地区で減少した。全地区で景気の横ばいを示す50を下回った。

### (2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

#### ① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなる」が横ばい、「やや良くなる」が8.9ポイント増加、「変わらない」が1.5ポイント減少、「やや悪くなる」が6.3ポイント減少、「悪くなる」が1.1ポイント減少したことにより、全体では4.3ポイント増加の48.0となり、景気の横ばいを示す50を2期連続で下回った。

判断理由では、原油価格の下落によるプラスの影響、天候回復や春の観光シーズンに期待する声があった一方で、食品等の値上げにより買い物や外食を控えることにつながる、賃金が変わらないので景気は良くならないという声のほか、消費税増税や物価上昇による消費マインドの低下を懸念する声があった。

#### ② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連の飲食のみ大きく減少したものの、家計関連全体で1.1ポイント増加、企業関連で15.3ポイント増加、雇用関連で10.7ポイント増加した。

#### ③ 地区別の動向

前期調査と比べて、津軽、県南、下北地区でポイントが増加し、東青地区では横ばいとなった。下北地区では、5期ぶりに景気の横ばいを示す50となった。

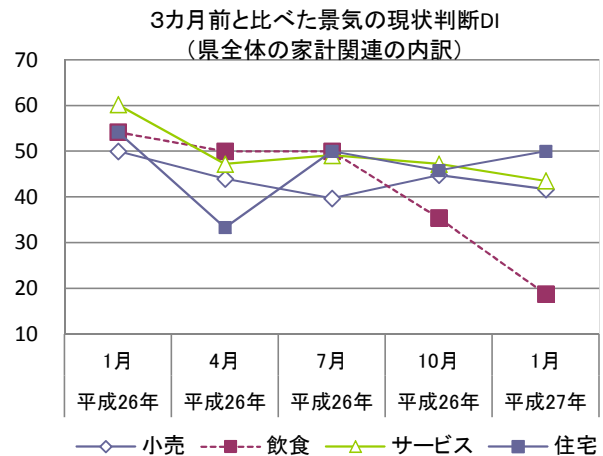
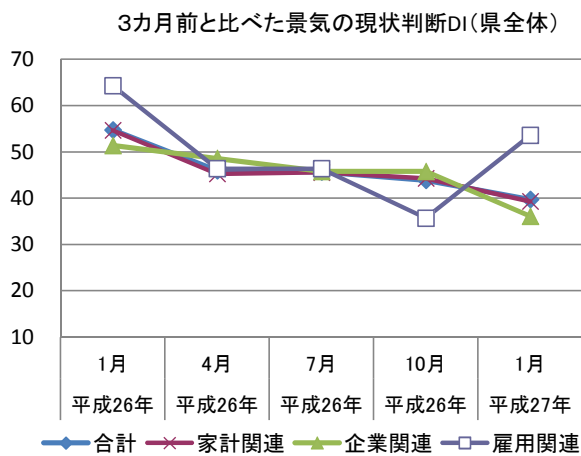
## 2. 県全体の動向

### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

#### ① D I

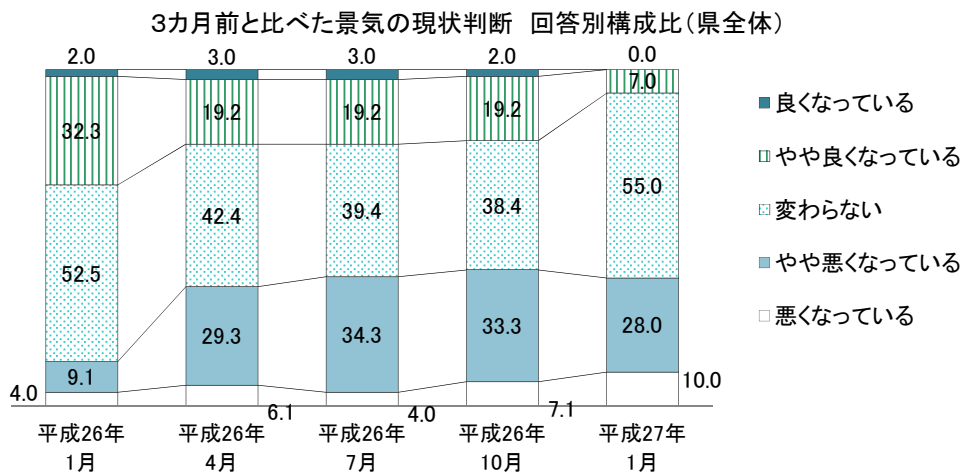
n = 100

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>54.8</b>	<b>46.0</b>	<b>45.7</b>	<b>43.9</b>	<b>39.8</b>	<b>▲ 4.1</b>
家計関連	54.7	45.3	45.6	44.3	39.3	▲ 5.0
小売	50.0	44.0	39.7	44.8	41.7	▲ 3.1
飲食	54.2	50.0	50.0	35.4	18.8	▲ 16.6
サービス	60.2	47.2	49.1	47.2	43.5	▲ 3.7
住宅	54.2	33.3	50.0	45.8	50.0	4.2
企業関連	51.4	48.6	45.8	45.8	36.1	▲ 9.7
雇用関連	64.3	46.4	46.4	35.7	53.6	17.9



#### ② 回答別構成比 (%)

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
良くなっている	2.0	3.0	3.0	2.0	0.0	▲ 2.0
やや良くなっている	32.3	19.2	19.2	19.2	7.0	▲ 12.2
変わらない	52.5	42.4	39.4	38.4	55.0	▲ 16.6
やや悪くなっている	9.1	29.3	34.3	33.3	28.0	▲ 5.3
悪くなっている	4.0	6.1	4.0	7.1	10.0	2.9



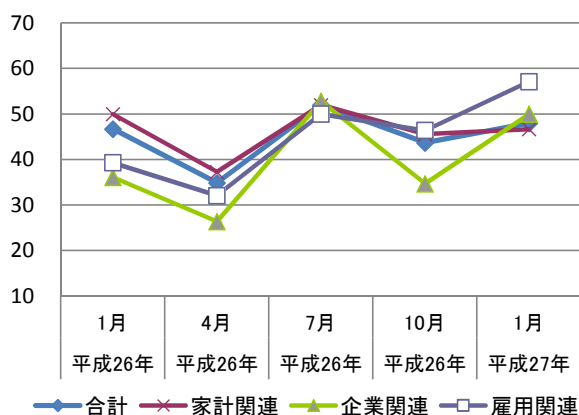
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

①DI

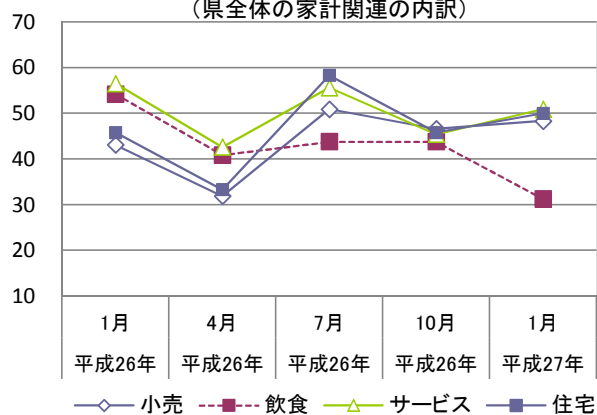
n = 100

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>46.7</b>	<b>34.9</b>	<b>52.0</b>	<b>43.7</b>	<b>48.0</b>	4.3
家計関連	50.0	37.3	52.0	45.6	46.7	1.1
小売	43.1	31.9	50.9	46.6	48.3	1.7
飲食	54.2	40.9	43.8	43.8	31.3	▲ 12.5
サービス	56.5	42.6	55.6	45.4	50.9	5.5
住宅	45.8	33.3	58.3	45.8	50.0	4.2
企業関連	36.1	26.4	52.8	34.7	50.0	15.3
雇用関連	39.3	32.1	50.0	46.4	57.1	10.7

3カ月後の景気の先行き判断DI(県全体)



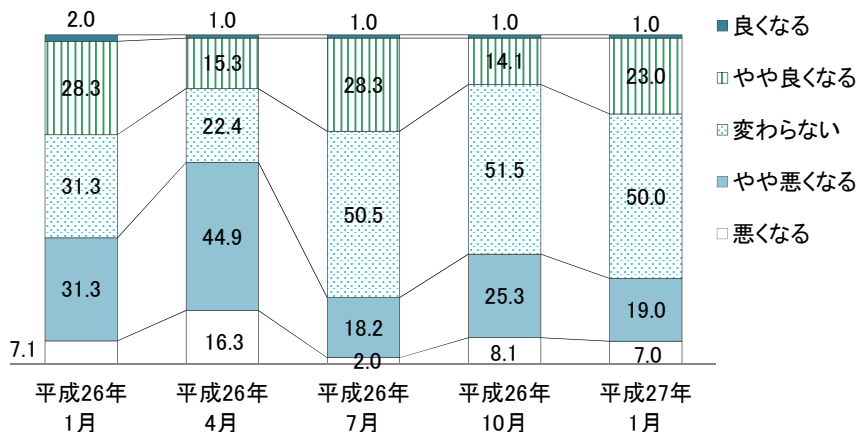
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(県全体の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
良くなる	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0
やや良くなる	28.3	15.3	28.3	14.1	23.0	8.9
変わらない	31.3	22.4	50.5	51.5	50.0	▲ 1.5
やや悪くなる	31.3	44.9	18.2	25.3	19.0	▲ 6.3
悪くなる	7.1	16.3	2.0	8.1	7.0	▲ 1.1

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県全体)



### 3. 地区別の動向

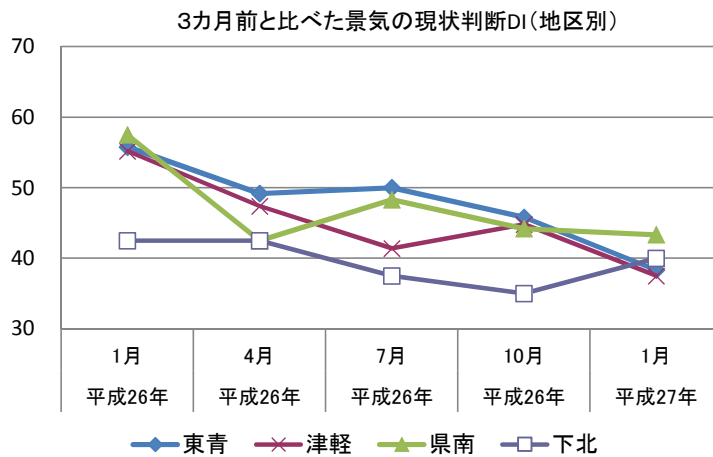
#### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

①DI

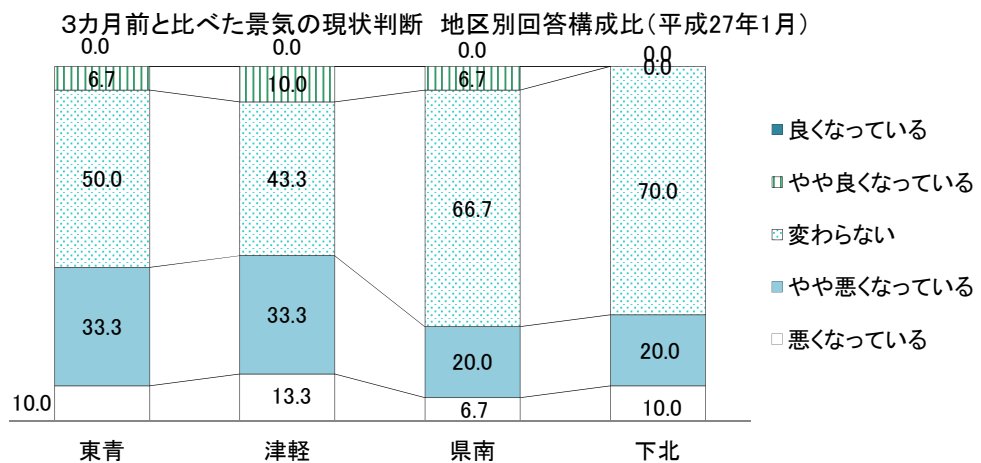
n = 100

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>54.8</b>	<b>46.0</b>	<b>45.7</b>	<b>43.9</b>	<b>39.8</b>	<b>▲ 4.1</b>
東青	55.8	49.2	50.0	45.8	38.3	▲ 7.5
津軽	55.2	47.4	41.4	44.8	37.5	▲ 7.3
県南	57.5	42.5	48.3	44.2	43.3	▲ 0.9
下北	42.5	42.5	37.5	35.0	40.0	5.0



#### ②地区別回答構成比(%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	6.7	10.0	6.7	0.0
変わらない	50.0	43.3	66.7	70.0
やや悪くなっている	33.3	33.3	20.0	20.0
悪くなっている	10.0	13.3	6.7	10.0



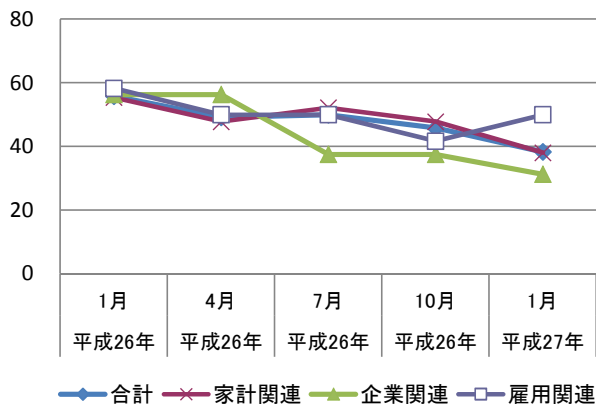
<東青地区>

①DI

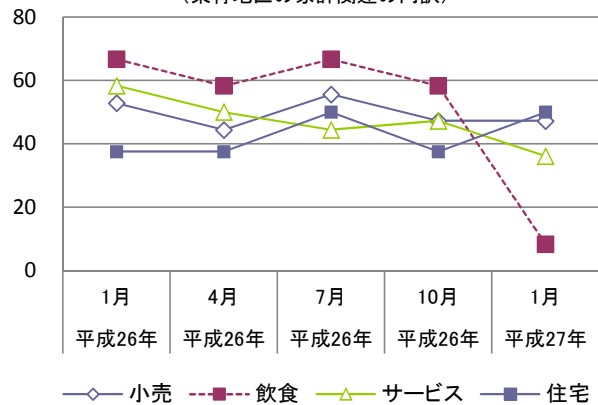
n= 30

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>55.8</b>	<b>49.2</b>	<b>50.0</b>	<b>45.8</b>	<b>38.3</b>	<b>▲ 7.5</b>
家計関連	55.4	47.8	52.2	47.8	38.0	▲ 9.8
小売	52.8	44.4	55.6	47.2	47.2	0.0
飲食	66.7	58.3	66.7	58.3	8.3	▲ 50.0
サービス	58.3	50.0	44.4	47.2	36.1	▲ 11.1
住宅	37.5	37.5	50.0	37.5	50.0	12.5
企業関連	56.3	56.3	37.5	37.5	31.3	▲ 6.2
雇用関連	58.3	50.0	50.0	41.7	50.0	8.3

3か月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



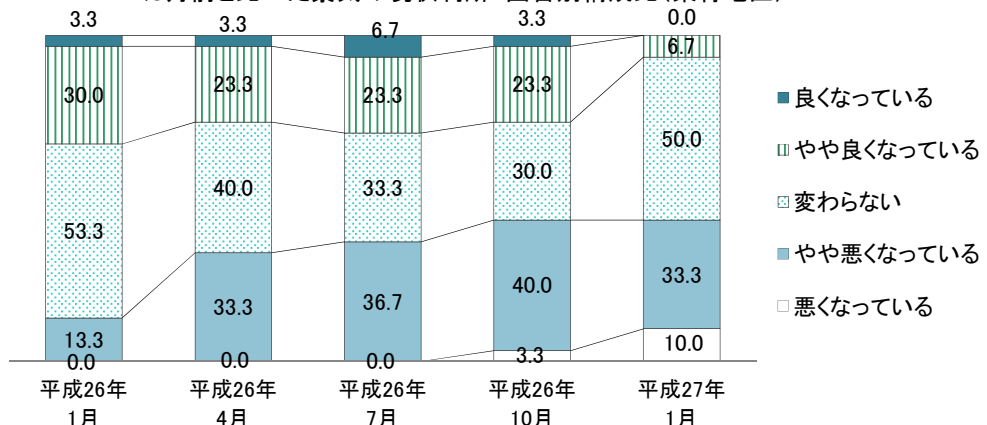
3か月前と比べた景気の現状判断DI  
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	3.3	6.7	3.3	0.0	▲ 3.3
やや良くなっている	30.0	23.3	23.3	23.3	6.7	▲ 16.6
変わらない	53.3	40.0	33.3	30.0	50.0	20.0
やや悪くなっている	13.3	33.3	36.7	40.0	33.3	▲ 6.7
悪くなっている	0.0	0.0	0.0	3.3	10.0	6.7

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)



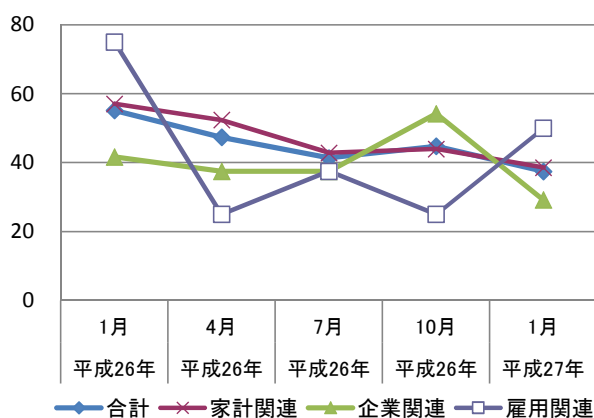
< 津軽地区 >

① D I

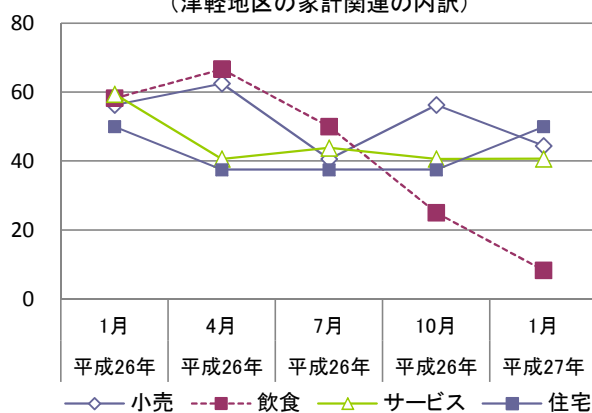
n = 30

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
合 計	55.2	47.4	41.4	44.8	37.5	▲ 7.3
家計関連	57.1	52.4	42.9	44.0	38.6	▲ 5.4
小売	56.3	62.5	40.6	56.3	44.4	▲ 11.9
飲食	58.3	66.7	50.0	25.0	8.3	▲ 16.7
サービス	59.4	40.6	43.8	40.6	40.6	0.0
住宅	50.0	37.5	37.5	37.5	50.0	12.5
企業関連	41.7	37.5	37.5	54.2	29.2	▲ 25.0
雇用関連	75.0	25.0	37.5	25.0	50.0	25.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



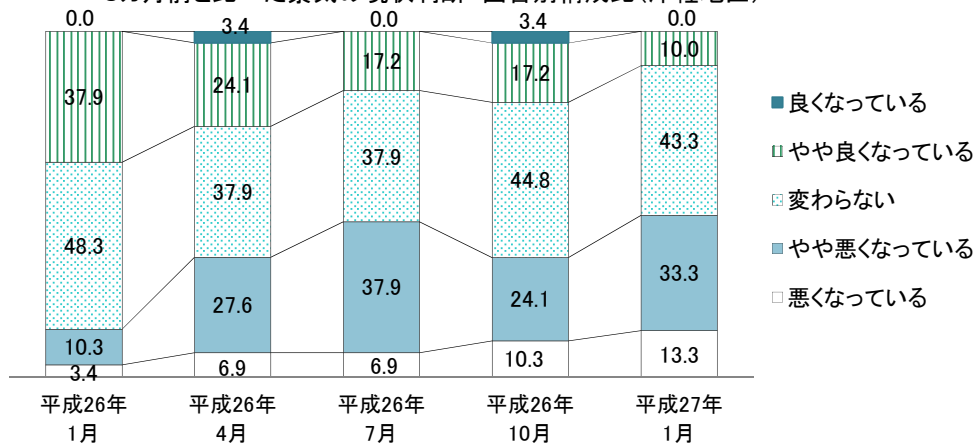
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(津軽地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	3.4	0.0	3.4	0.0	▲ 3.4
やや良くなっている	37.9	24.1	17.2	17.2	10.0	▲ 7.2
変わらない	48.3	37.9	37.9	44.8	43.3	▲ 1.5
やや悪くなっている	10.3	27.6	37.9	24.1	33.3	9.2
悪くなっている	3.4	6.9	6.9	10.3	13.3	3.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)





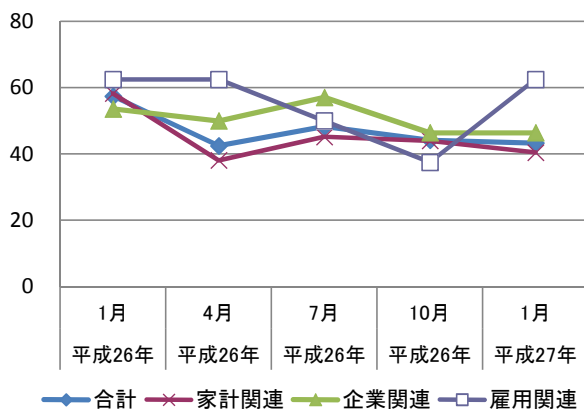
< 県南地区 >

① D I

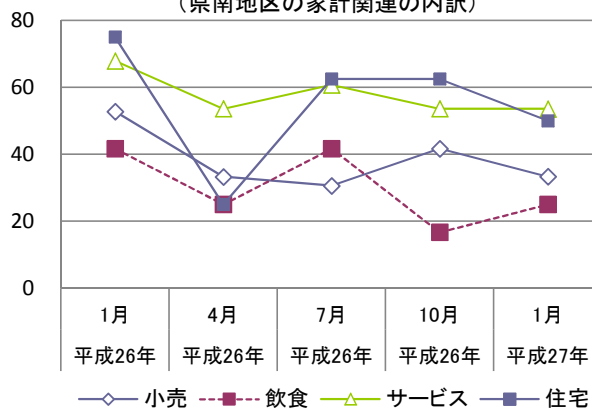
n = 30

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>57.5</b>	<b>42.5</b>	<b>48.3</b>	<b>44.2</b>	<b>43.3</b>	<b>▲ 0.9</b>
家計関連	58.3	38.1	45.2	44.0	40.5	▲ 3.5
小売	52.8	33.3	30.6	41.7	33.3	▲ 8.4
飲食	41.7	25.0	41.7	16.7	25.0	8.3
サービス	67.9	53.6	60.7	53.6	53.6	0.0
住宅	75.0	25.0	62.5	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	53.6	50.0	57.1	46.4	46.4	0.0
雇用関連	62.5	62.5	50.0	37.5	62.5	25.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



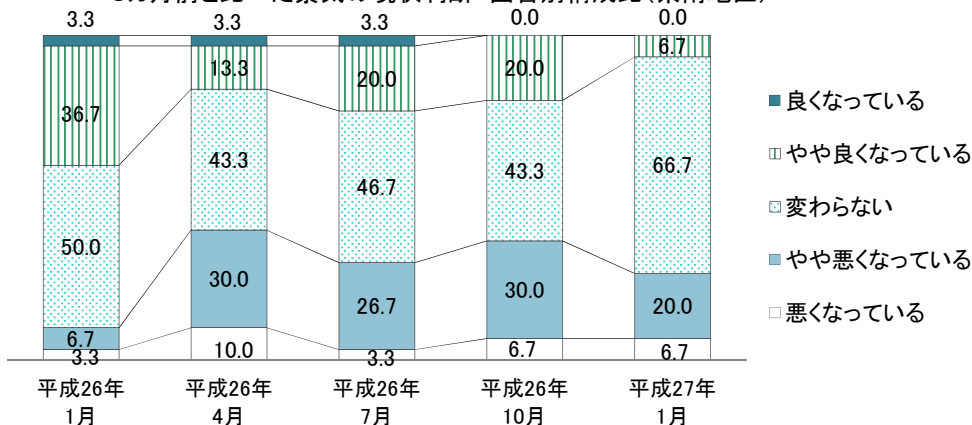
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	36.7	13.3	20.0	20.0	6.7	▲ 13.3
変わらない	50.0	43.3	46.7	43.3	66.7	23.4
やや悪くなっている	6.7	30.0	26.7	30.0	20.0	▲ 10.0
悪くなっている	3.3	10.0	3.3	6.7	6.7	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)



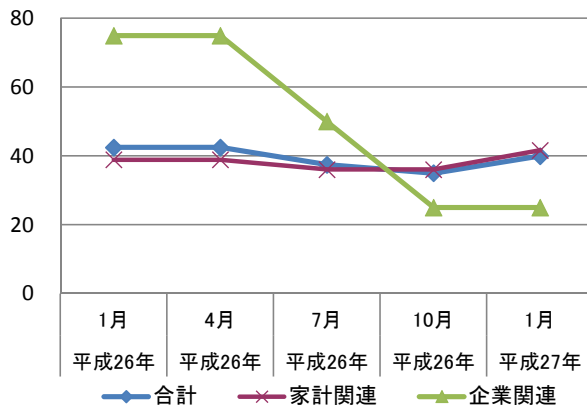
<下北地区> (参考)

①DI

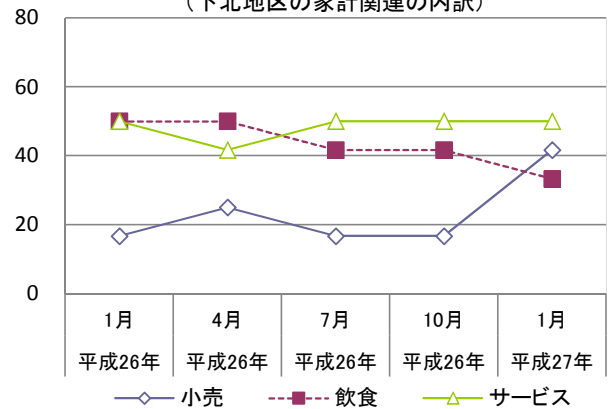
n= 10

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>42.5</b>	<b>42.5</b>	<b>37.5</b>	<b>35.0</b>	<b>40.0</b>	5.0
家計関連	38.9	38.9	36.1	36.1	41.7	5.6
小売	16.7	25.0	16.7	16.7	41.7	25.0
飲食	50.0	50.0	41.7	41.7	33.3	▲ 8.4
サービス	50.0	41.7	50.0	50.0	50.0	0.0
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	75.0	50.0	25.0	25.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(下北地区)



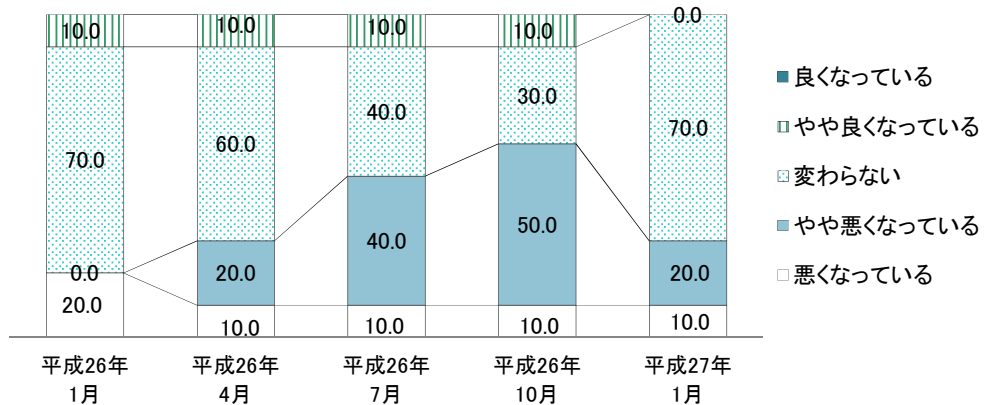
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	▲ 10.0
変わらない	70.0	60.0	40.0	30.0	70.0	40.0
やや悪くなっている	0.0	20.0	40.0	50.0	20.0	▲ 30.0
悪くなっている	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(下北地区)



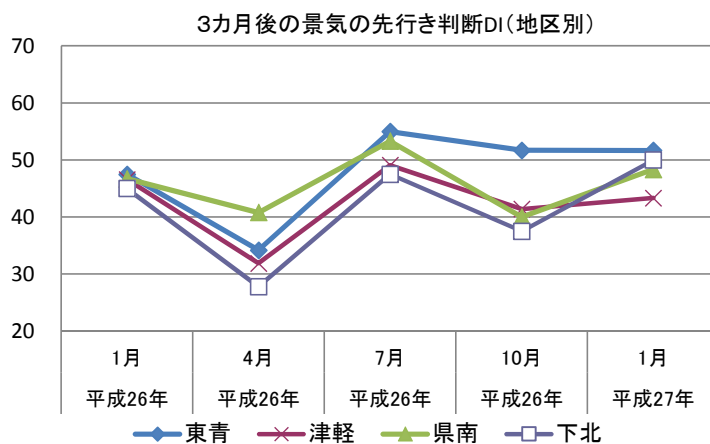
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

<地区別>

①DI

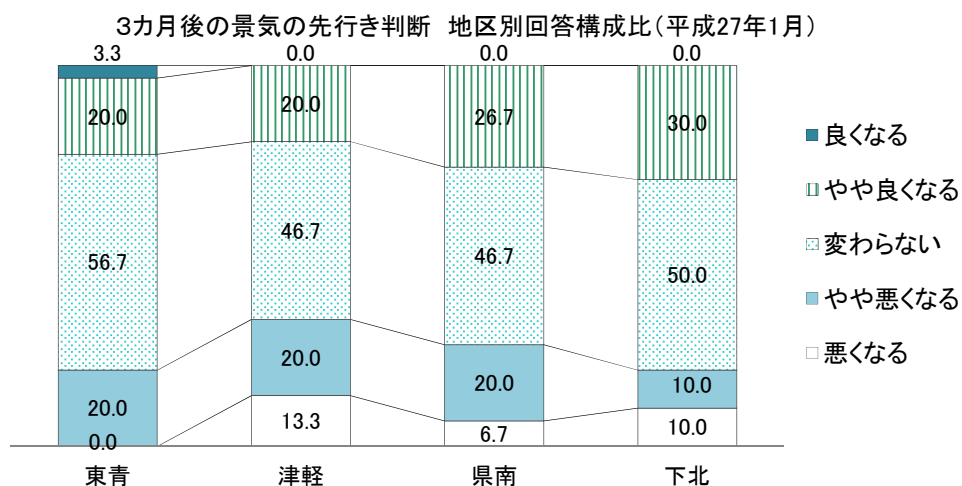
n = 100

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>46.7</b>	<b>34.9</b>	<b>52.0</b>	<b>43.7</b>	<b>48.0</b>	4.3
東青	47.5	34.2	55.0	51.7	51.7	0.0
津軽	46.6	31.9	49.1	41.4	43.3	1.9
県南	46.7	40.8	53.3	40.0	48.3	8.3
下北	45.0	27.8	47.5	37.5	50.0	12.5



②地区別回答構成比(%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	20.0	26.7	30.0
変わらない	56.7	46.7	46.7	50.0
やや悪くなる	20.0	20.0	20.0	10.0
悪くなる	0.0	13.3	6.7	10.0



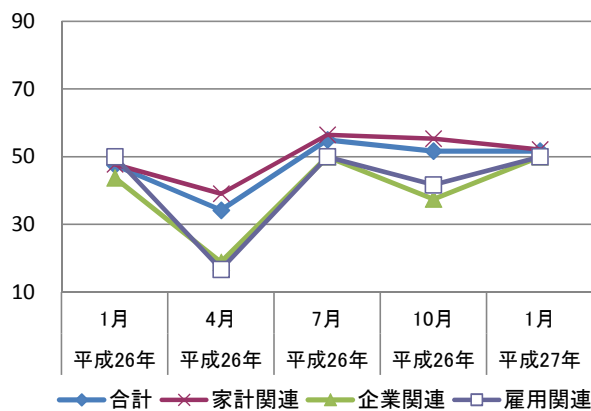
<東青地区>

①DI

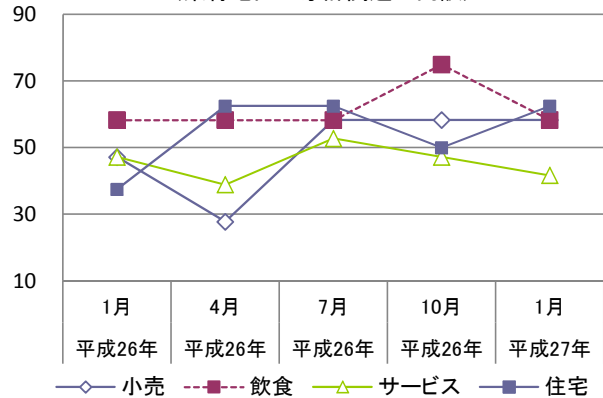
n = 30

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>47.5</b>	<b>34.2</b>	<b>55.0</b>	<b>51.7</b>	<b>51.7</b>	0.0
家計関連	47.8	39.1	56.5	55.4	52.2	▲ 3.2
小売	47.2	27.8	58.3	58.3	58.3	0.0
飲食	58.3	58.3	58.3	75.0	58.3	▲ 16.7
サービス	47.2	38.9	52.8	47.2	41.7	▲ 5.5
住宅	37.5	62.5	62.5	50.0	62.5	12.5
企業関連	43.8	18.8	50.0	37.5	50.0	12.5
雇用関連	50.0	16.7	50.0	41.7	50.0	8.3

3カ月後の景気の先行き判断DI(東青地区)



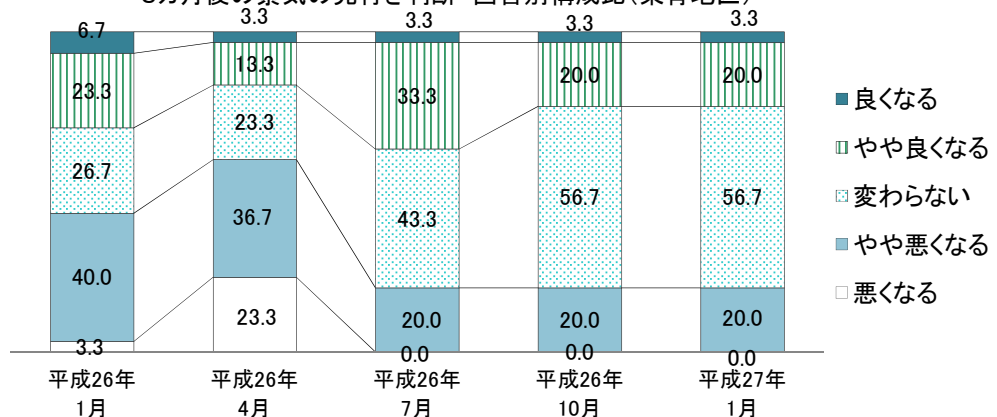
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比(%)

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
良くなる	6.7	3.3	3.3	3.3	3.3	0.0
やや良くなる	23.3	13.3	33.3	20.0	20.0	0.0
変わらない	26.7	23.3	43.3	56.7	56.7	0.0
やや悪くなる	40.0	36.7	20.0	20.0	20.0	0.0
悪くなる	3.3	23.3	0.0	0.0	0.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(東青地区)



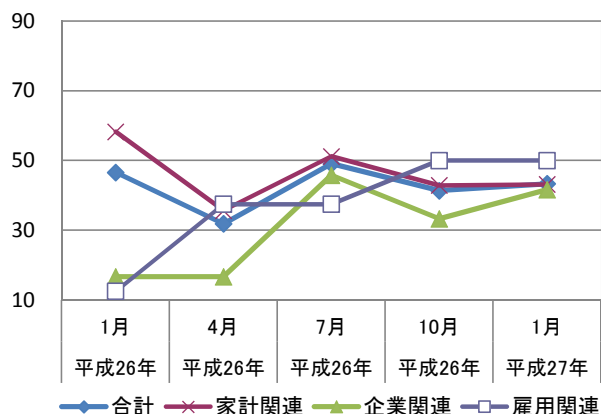
<津軽地区>

①DI

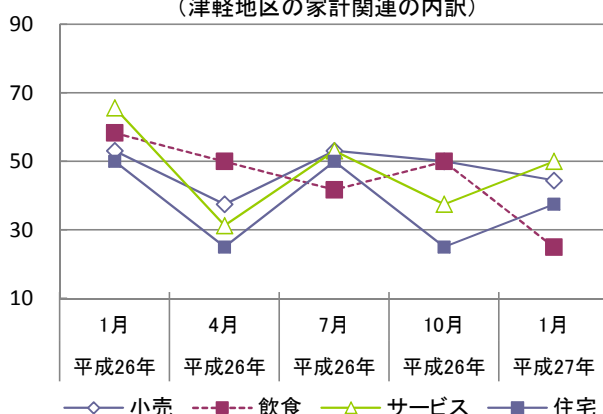
n=30

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>46.6</b>	<b>31.9</b>	<b>49.1</b>	<b>41.4</b>	<b>43.3</b>	1.9
家計関連	58.3	35.7	51.2	42.9	43.2	0.3
小売	53.1	37.5	53.1	50.0	44.4	▲ 5.6
飲食	58.3	50.0	41.7	50.0	25.0	▲ 25.0
サービス	65.6	31.3	53.1	37.5	50.0	12.5
住宅	50.0	25.0	50.0	25.0	37.5	12.5
企業関連	16.7	16.7	45.8	33.3	41.7	8.4
雇用関連	12.5	37.5	37.5	50.0	50.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(津軽地区)



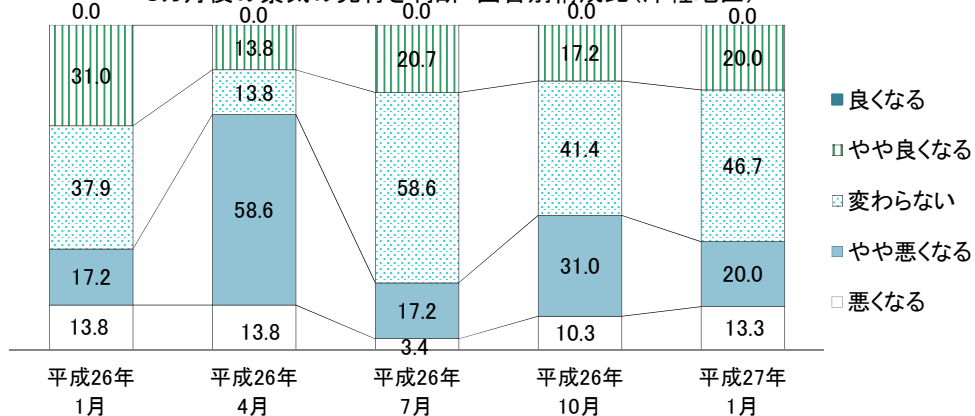
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	31.0	13.8	20.7	17.2	20.0	2.8
変わらない	37.9	13.8	58.6	41.4	46.7	5.3
やや悪くなる	17.2	58.6	17.2	31.0	20.0	▲ 11.0
悪くなる	13.8	13.8	3.4	10.3	13.3	3.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(津軽地区)



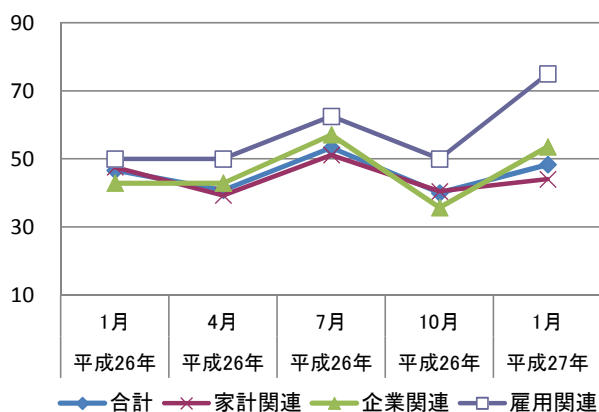
< 県南地区 >

① D I

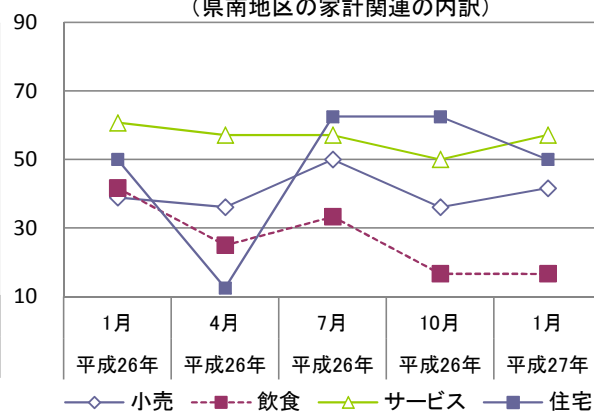
n = 30

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>46.7</b>	<b>40.8</b>	<b>53.3</b>	<b>40.0</b>	<b>48.3</b>	8.3
家計関連	47.6	39.3	51.2	40.5	44.0	3.5
小売	38.9	36.1	50.0	36.1	41.7	5.6
飲食	41.7	25.0	33.3	16.7	16.7	0.0
サービス	60.7	57.1	57.1	50.0	57.1	7.1
住宅	50.0	12.5	62.5	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	42.9	42.9	57.1	35.7	53.6	17.9
雇用関連	50.0	50.0	62.5	50.0	75.0	25.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(県南地区)



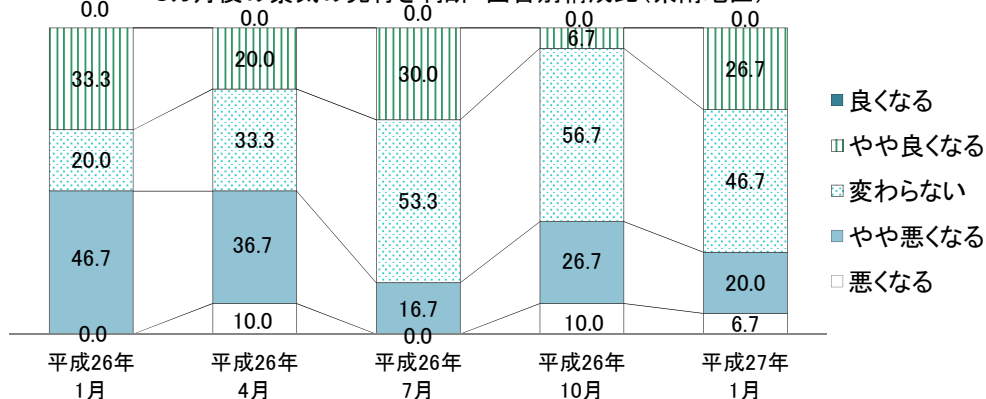
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(県南地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	33.3	20.0	30.0	6.7	26.7	20.0
変わらない	20.0	33.3	53.3	56.7	46.7	▲ 10.0
やや悪くなる	46.7	36.7	16.7	26.7	20.0	▲ 6.7
悪くなる	0.0	10.0	0.0	10.0	6.7	▲ 3.3

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県南地区)

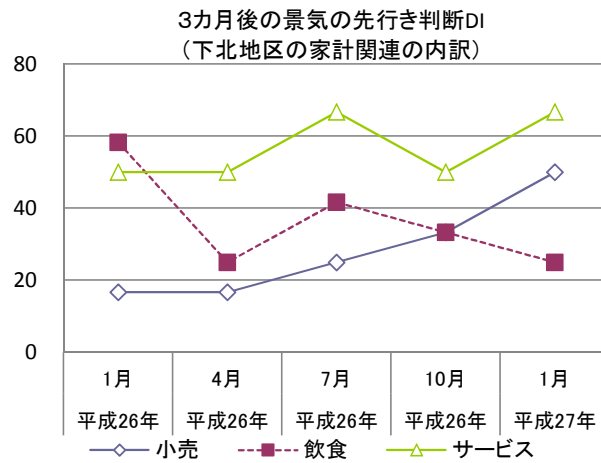
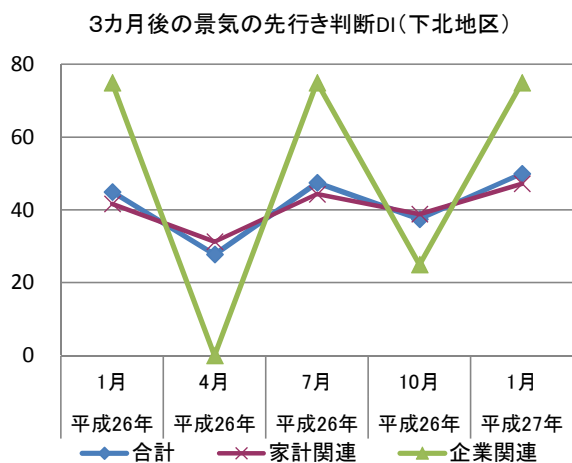


<下北地区> (参考)

①DI

n= 10

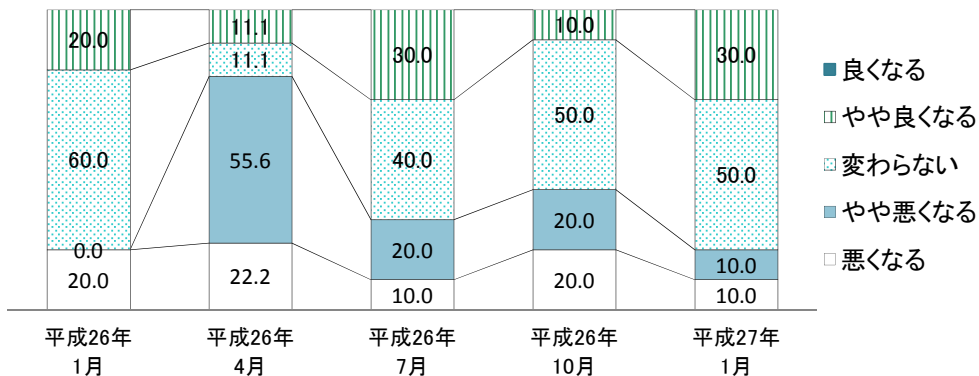
	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>45.0</b>	<b>27.8</b>	<b>47.5</b>	<b>37.5</b>	<b>50.0</b>	12.5
家計関連	41.7	31.3	44.4	38.9	47.2	8.3
小売	16.7	16.7	25.0	33.3	50.0	16.7
飲食	58.3	25.0	41.7	33.3	25.0	▲ 8.3
サービス	50.0	50.0	66.7	50.0	66.7	16.7
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	0.0	75.0	25.0	75.0	50.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-



②回答別構成比 (%)

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	11.1	30.0	10.0	30.0	20.0
変わらない	60.0	11.1	40.0	50.0	50.0	0.0
やや悪くなる	0.0	55.6	20.0	20.0	10.0	▲ 10.0
悪くなる	20.0	22.2	10.0	20.0	10.0	▲ 10.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(下北地区)



## 4. 判断理由

### (1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計	東青	コンビニ	売上等から判断。
			スーパー	来店客数は前年を割り込んでいるが、客単価は前年を上回り、売上は回復傾向。
		津軽	一般小売店	土砂降りから普通の雨になってきたような感じです。
			都市型ホテル	増税先送りが決定して以降、やや上向いている。
		県南	ガソリンスタンド	油が安くなったので、船や車の業社は良くなっていると思う。
変わらない	家計	東青	衣料専門店	9～11月は秋冬物の衣替え需要が好調で回復基調にありと回答していましたが、12月から停滞している、年末年始の繁忙期が不調、景気浮揚の実感が薄い。
			家電量販店	原油価格は下落しているものの、円安により、仕入価格が上昇している為。
			商店街	12月としては降雪量が多く、消費活動の停滞につながった。
			卸売業	12月繁忙期だというのに売上が上昇しない。
			タクシー	やっぱり3%増税の影響がそのままだと思います。
			パチンコ	年末を控えても悪いままで変わらない感じでした。
			設計事務所	多雪により工事に負担が大きいです、一方、除排雪業者は多少潤うのか。
			住宅建設販売	住宅着工件数の大幅な減少のため。
		津軽	乗用車販売	景気上昇の要因が見えない。
			衣料専門店	生活必需品の高騰と、雪の除雪に金がかかる。特に寒いので灯油がかさむ。
			設計事務所	アベノミクスで上向いている様な感じは中央にはあるが、中小企業の多い地方ではアベノミクスの恩恵は何もない。逆に物価が上昇気味で先が見えない。
			住宅建設販売	この時期になると、かならず我々業種は季節的要因が主で停滞する。
		県南	一般小売店	円安→原油高→灯油・ガソリン高の最悪のシナリオは逃れたので悪くはないと思う。
			卸売業	安い商品をさがして、安い店をさがして買い回っている状況。買い控えはまだ続きそう。
			一般飲食店	大企業の良景気がマスコミで宣伝されすぎで、地方はちょっと良い時もあるが、物価上昇で苦しいのが現状ではないか。
			観光型ホテル・旅館	一言では表現しづらいが、国外を含めて見ると、円安の影響は大きい。一方で、国内市場は停滞が続いている。総合的に変わらない状況。



現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	県南	観光名所等	売上を見ても極端に上がっているわけでもないし、客入込客数は去年より減っているから。
			旅行代理店	顧客対応していると、業種・企業ごとにバラツキがあるので。
			タクシー	仕事が増えている訳でもないし、年末年始だからといって買物しなくて、大分前から安い物を買ってストックしている。また、衆議院の選挙も影響しているかも。
			美容院	特に明るい要素はなく、本当に必要な物以外、衝動買いをしなくなった。政策の先行きの見通しがまだ分からないためとも感じます。
			設計事務所	マスコミ報道と同じく、アベノミクス効果は地方に届いていない。公共工事発注も年間を通じて平準的に出してほしい。
			住宅建設販売	増税にならないのはプラス要因だが、だからといって購入が増えるとは思えない。
	下北	スーパー	売上の減少、高額品の不振、お買い上げ点数単価の減。（客数は前年並ですが）	
		一般小売店	冬季に入り、増税プラス灯油代で客足が鈍る予想をしていましたが、灯油の価格が下がった為か、大きな落ち込みがなかったです。	
		都市型ホテル	個人消費は相変わらず低調なままで、上向く兆しが見えてこない。	
		タクシー	変わらないとしたが、売上は向上している。積雪の影響もあると思う。	
		ガソリンスタンド	中央の大企業は良いようだが、地方はまるで良くは感じられないし、むしろ消費税が上がった分、悪くなったように感じられます。	
	企業	東青	広告・デザイン	特筆するような動きがない。
			津軽	経営コンサルタント
		県南	広告・デザイン	受注物件数及び受注額等が増加していない。
			食料品製造	灯油等の下落、その他輸入原材料の高騰など様々な景気の要素は変化しているが、不透明感は変わっていないから。
			電気機械製造	円安となり、国内製造業には追い風だが、派遣法改正が遅れたり、以前の派遣切りでの工場労働へのイメージ悪化、縮小や撤退の噂される誘致企業などの悪影響もみられる。
			経営コンサルタント	消費など賃金に関連するマインドはやや悪くなっている。雇用関連などはタイトになり賃金などが上昇してきているのでプラスマイナス零で変えない。
		広告・デザイン	業種によりますが、建設系は良いみたいですが、我々広告業、物販等サービス業は良くない。	
		雇用	東青	人材派遣
	新聞社求人広告			年末年始の人出が少なくなってきたと感じている。
津軽	新聞社求人広告		年末商戦、正月初売りでの消費者の動きをみても、必要最低限の購入を控えている傾向が垣間見てとれる。地域経済は良くない。	
県南	新聞社求人広告		消費税増税にともなう消費の落ち込みが今も続いていて明るい材料がない。	

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	東青	レストラン	今年は雪の影響があるのでは。
			観光型ホテル・旅館	地方景気不振。
			都市型ホテル	12月からの大雪により、客足が鈍り売上が伸び悩んでいる。急な選挙により予約キャンセルもあった。
			観光名所等	例年冬場の入込は落ち込むが、12月は20%の大幅減。1月も出足が鈍い。
			美容院	来店サイクルが少しずつ低下しているように思う。
			競輪場	GDPのマイナス成長の報道以降売上が落ちている。
	津軽		コンビニ	財布の紐がかたいと思います。又、ひとりで使えるお金が少ない人が友達・知人に多く、保険・ローン等に給料が多く出費されております。
			百貨店	悪天候(大雪)の影響が大きいとは思いますが、12月から1月初めにかけては、来店数が大幅減となっている。また、不必要なものは購入せず、客単価の減も続いている。
			商店街	衣類のセールや初売りがいまいち。
			一般飲食店	今年も雪が多くて雪になれているとはいえ大変です。雪片付けなどで客足も今いちと言う所で。売上にも影響している気がします。
			観光型ホテル・旅館	3ヵ月前、紅葉の繁忙期は業界全体が売上増でしたが(当館前年対比10月9.12%増、11月12.19%減、12月微増2.27%)1月は減額になる見込み。
			観光名所等	大雪、食品(食材を含む)値上がり。
			旅行代理店	米価の下落による影響。
	県南		コンビニ	客単価が減少している。
			百貨店	12月商況の前年対比が消費税増税前の先取り需要があったためか衣料品や生活用品などで購買が落ち込んでいるため。
			スーパー	実質所得が増えていないため。節約傾向。消費低迷。
			衣料専門店	秋冬物商品への関心が高まっている時に、台風の接近だったり、12月の中頃は数年に1度の暴風や雪の中外出しないようにとの朝いちからの報道により八戸市内はそれ程ではなかったのに客足がまったくなく売るときのチャンスをなくして行くように感じました。
			スナック	増税による消費が伸び悩みしてるかも。
	下北		コンビニ	客数が減っている。
	企業	東青	食料品製造	前3ヵ月と比べれば需要は拡大しましたが年末商戦等季節的要因によるもので、前年同時期に比べれば為替の影響等コスト高が続いており業況・景気回復とはいえない。
			経営コンサルタント	景気の停滞はその後も続いている。年末のボーナスも前年並みの所が多く、地方の景気は回復していない。
津軽		食料品製造	消費税の3%の上昇は結構大きい。	

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	企業	津軽	飲料品製造	消費税増税後の消費の冷え込みにより思うように売上が伸びないので。
			電気機械製造	昨年秋に発売になったスマートホーンの部品の受注が落ちてきたため。
		県南	飲料品製造	年末の盛り上がりがあったほど感じられず、年明けの出荷の状況もスローペース。得意先からあまり明るい話を聞かない。
		下北	食料品製造	とにかく物が動かない。
悪くなっている	家計	東青	百貨店	売上の回復が感じられない。
			一般飲食店	雪につきますね。世界一の豪雪都市青森ですが、市民もまっています。
			スナック	色々努力しておりますが、中々難しく悩んでおります。(何十年も経営してますと、年齢なりの接客ですけど、お客様に感謝の一言です。)
		津軽	スナック	ちょっと期待していた年末もその割静かであった。
			ガソリンスタンド	飲食店の料理単価が上がっている。
		県南	乗用車販売	お客様の動きが悪い。(来店の減少)
			レストラン	外食する人が減っている。
		下北	一般飲食店	全く良くなるどころか下がる一方です。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	一般飲食店	交通網次第で確実に変わります。あとは自己責任。
やや良くなる	家計	東青	コンビニ	質問2（回答：やや良くなっている）の延長で。
			百貨店	少しでも良くする努力をする。
			スーパー	原油が値下がりしている事でプラス効果も考えられる。オーストラリアから輸入する牛肉等の関税引き下げも景気に影響する。
			卸売業	雪量が多いと消費者は外出を避ける傾向にあるが、3ヵ月後は天候も春らしくなり外出して買い物をし、お金を使うようになる為。
			ガソリンスタンド	原油安は経済活動を活発化させる大きな要因となる。
			住宅建設販売	この冬期間は何をやっても集客が難しい。春になると回復して欲しい期待を込めて。
	津軽		百貨店	天候回復とともに客足は戻るのではと期待している。また、それを見据えた施策も構築中である。
			旅行代理店	国、県の政策が良い方向に進むことを期待して。
			タクシー	原油価格の下落の影響で少しは良くなると思う。
	県南		観光型ホテル・旅館	海外市場の活発化で、国内市場も良い方向で引っ張られると予測している。
			美容院	円安効果で燃料安、贈与税が親などからの明確な金額・用途に非課税、法人税を下げ海外拠点を国内へ移転、そしてアベノミクス効果の地方への流れなどで可処分所得が増えそうな気がする。
	下北		タクシー	そろそろ地方にもいい風が吹いてくるのでは。
			ガソリンスタンド	原油価格の下落により燃料費の負担が緩和した分、良くなると思います。
	企業	津軽	経営コンサルタント	消費増税すら約1年を経過して増税前の駆け込み需要の反動減も一服したと思うから。
輸出関連企業の好業績の還元と消費税先送りにより内需回復の期待に期待したい。				
県南		電気機械製造	為替が大幅な円安となったことにより、国内生産の見直し（増強や投資）を行うとの話が聞かれるようになりました。	
			建設	補正予算はじめ安倍政権による総選挙後の景気回復政策に期待している。
下北		食料品製造	消費税10%先送りで、心理的に。	
変わらない	家計	東青	衣料専門店	青森は12月からの豪雪で自然的要因もあるのだろうが、報道されている円安で景気好転とは行かないようである、消費の手応えは弱い。
			家電量販店	消費税の影響や、原油価格、為替の動向等により、先行き不透明の為。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	商店街	値上げと消費増税の影響はまだまだ継続しそうだ。
			スナック	期待したいですが、全く見当が付きません。変わらないということは良くなる事です。
			観光名所等	入込減が続きそう。
			美容院	春になれば気持ち的に少しは売上が上昇すると期待しています。
			パチンコ	良くなる兆しを感じられない。
			設計事務所	年度内の仕事が追い込み状態。来年度の見通しはまだ動きがない。
	津軽		乗用車販売	地方まで景気上昇の実感が感じられるまで時間がかかる。
			一般飲食店	毎年、降る雪、これからもまだ続くと思います。お客様の様子から見ても春近くでないといふ景気につながっていかないような気がします。
			観光型ホテル・旅館	春の観光シーズンに入れば多少なりとも良くなるのかなと思いつつも変わらないとした。
			都市型ホテル	円高基調が続く限り、地方経済は上向かない。
			住宅建設販売	春以降の着工に向けての準備期間であり、経済的に明るくなるとかという時期ではないと思う。
	県南		スーパー	さらなる消費増税、食品の値上げ、生活費圧迫のため、先行き・見通しは明るい話題がないため。
			一般小売店	去年は消費税導入(8%)の直前だったので、大物(単価の高い物、大型家電、自動車)はその時すでに買っているため期待できない。
			卸売業	企業としては早く回復してほしい。しかし、1月からの各メーカーの値上げが水を差すことになりそうです。必要な物を最小限購入する傾向が続きそう。
			観光名所等	消費税等増税しても賃金は変わらないので良くなるはないと思う。
			旅行代理店	アベノミクスの影響が不明。
			タクシー	3ヵ月後は仕事の端境期。加えて統一地方選、期待を込めて上方修正したいが、現状維持できればいいのではないだろうか。
			設計事務所	アベノミクス効果が出るのは、年度明け数ヶ月してからではないか。
	下北		コンビニ	給料が上がる見込みもないのに、景気がよくなるはずがない。
			スーパー	食品の値上げラッシュが続き、買い控えがおこりそう。
一般小売店			増税が先送りになり、生活防衛が回避された感はありますが、所得が増えてないので変わりないと思います。	
都市型ホテル			急に景気が上向く事もないし、急激に下降する事もないと思う。	

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	企業	東青	食料品製造	すでに10年以上にわたりみそ・しょうゆの需要は減り続けており、近時の燃料価格低下への期待はあるが消費税増税分を製品価格に転嫁できない環境下ではさほど期待できないと感じているが、半面、みそ、しょうゆは日本の食文化の中心にあり発酵食品の再評価、低カロリー、海外における和食ブームなどフォローの風も感じられることから消費者ニーズに応える商品開発が業績を左右することになると捉えて取り組んでいる。
			経営コンサルタント	良くなるとは思えない。ただし、最近の原油の値下がり在今后広い範囲で好影響を与える可能性があり、要注目。しかし、目先食品等消費財で値上げ品目も予想されているので様子を見てみたい。
			広告・デザイン	新しい要素が見当たらない。
		津軽	食料品製造	賃金が上がっても実質的には下がっている状態。
			飲料品製造	消費の回復が少ないように感じるので。
			広告・デザイン	見積り依頼件数、工事物件数が増えていない。
	県南	飲料品製造	多少は落ち着くと考えるが、景気上昇の要因が見当たらない。	
		経営コンサルタント	政策や資金供給で景気を維持していくので変わらないのではないかと。	
	雇用	東青	人材派遣	求人とのマッチングは、雇用条件の改善に踏み込める事業所も少なく変化は少ないと思われる。
			新聞社求人広告	値上げムードが水を差す。
津軽		人材派遣	所得が上がることで、消費が伸び景気が上向くが、所得が上がる気配があまり感じられない。	
		新聞社求人広告	好材料が見当たらないから。	
やや悪くなる	家計	東青	レストラン	地方への景気がよくなることはないような。
			都市型ホテル	原油価格が下がった為、暖房用の重油やガソリンは安くなったものの乳製品の値上げや品不足があり仕入れ価格の上昇が危惧される。
			タクシー	今現在、今年大雪にて燃料費などでお金がかかっていますが、春先になると、その影響が出てもっと消費が落ち込むと思います。
			競輪場	大雪の影響が少なからずある。
	津軽	コンビニ	雪が多いと除雪で雇用が増えるが(一部)出て行く(県外)人がまだまだ多いので人口が減っている(一時的に)と数字に出て来る。	
		衣料専門店	円安、株高は輸入品物価を押し上げる。原油の1バレル50ドル以下ですと、ロシア、ヨーロッパの経済上の悪化を招き世界に広がる。	
		観光名所等	ほとんどの物が値上がり又はその予告、バス料金の値上げ。	
		設計事務所	政府の言葉通り、景気が上向くとして地方自治体が仕事を発注しても現在は良いがその反動が出はじめている様に感じられる。(資材等の取り合いである種の物資が品薄)	

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	県南	コンビニ	人口減少のため。
			百貨店	1～3月は昨年4月の消費税増税前の先取り需要の反動が予想されるため。
			乗用車販売	減税延長により近々の需要が減少。
			衣料専門店	景気回復についての実感がまったくなくこれからの年金制度などの政策や制度に対する将来への不安がある為、良くなる要因がまったく見あたらない。
			一般飲食店	これから円安による物価上昇で収益がどんどん悪くなるのではという不安は払拭されない。
			スナック	年末からずっと人の流れが少ない中、より静か。
	下北	レストラン	消費税がまた上がると先が読めない。	
悪くなる	家計	津軽	電気機械製造	毎年春は、前年秋発売のスマートホンと当年秋発売のスマートホンの端境期にあたり、あまり部品の受注は期待できないため。
			一般小売店	3ヵ月前からすると土砂降りが小雨か曇りになるという感じがするが、1年前の消費増税前の駆け込み需要からすれば悪くなるのは当然。
			スナック	今年は雪も影響して、ますます人の動きは少なくなるような気がする。
		ガソリンスタンド	輸入製品等の値上がり、食料品に影響してくる。(レトルト、乳製品、カップヌードルetc)	
		県南	レストラン	食品等の値上げにより、外食や宴会をする方が減る。
	下北	一般飲食店	先が見えないからです。	
	企業	県南	広告・デザイン	消費税増税、円安による物価上昇を前に消費マインドは下がっている。



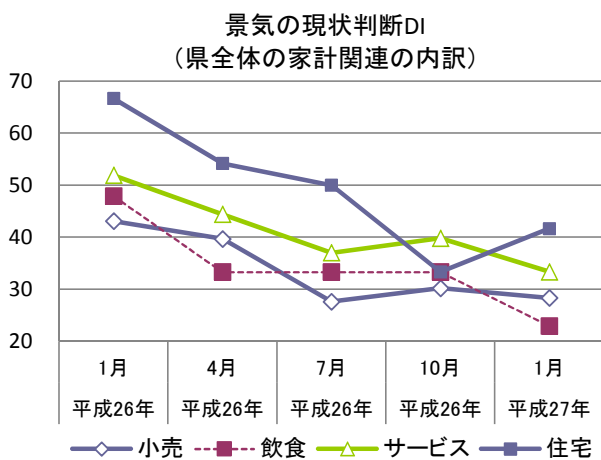
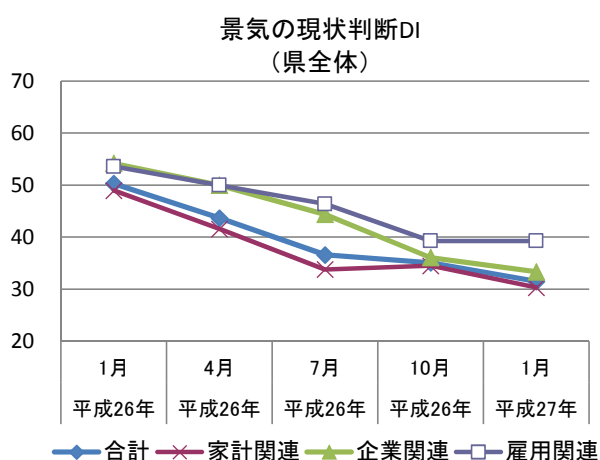
## 5. 参考

### (参考1) 景気の現状判断

#### ①DI

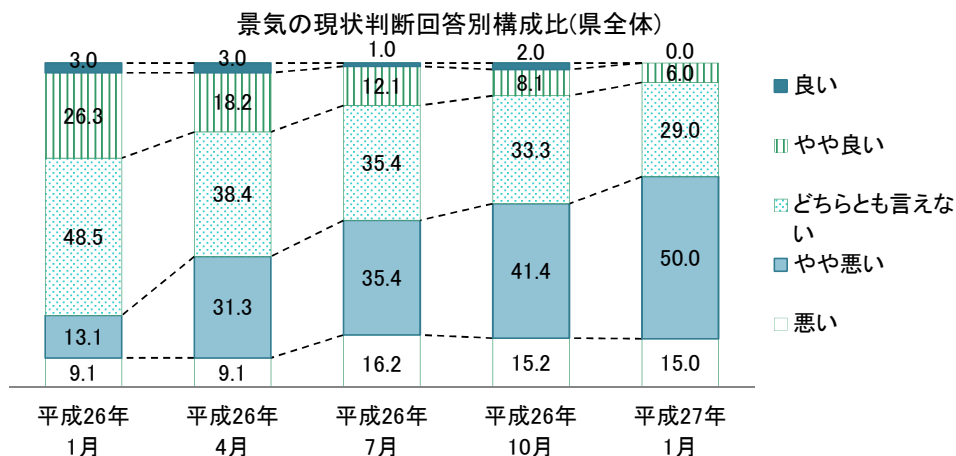
n = 100

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>50.3</b>	<b>43.7</b>	<b>36.6</b>	<b>35.1</b>	<b>31.5</b>	<b>▲ 3.6</b>
家計関連	49.0	41.6	33.8	34.5	30.3	▲ 4.2
小売	43.1	39.7	27.6	30.2	28.3	▲ 1.9
飲食	47.9	33.3	33.3	33.3	22.9	▲ 10.4
サービス	51.9	44.4	37.0	39.8	33.3	▲ 6.5
住宅	66.7	54.2	50.0	33.3	41.7	8.4
企業関連	54.2	50.0	44.4	36.1	33.3	▲ 2.8
雇用関連	53.6	50.0	46.4	39.3	39.3	0.0



#### ②回答別構成比 (%)

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
良い	3.0	3.0	1.0	2.0	0.0	▲ 2.0
やや良い	26.3	18.2	12.1	8.1	6.0	▲ 2.1
どちらとも言えない	48.5	38.4	35.4	33.3	29.0	▲ 4.3
やや悪い	13.1	31.3	35.4	41.4	50.0	8.6
悪い	9.1	9.1	16.2	15.2	15.0	▲ 0.2

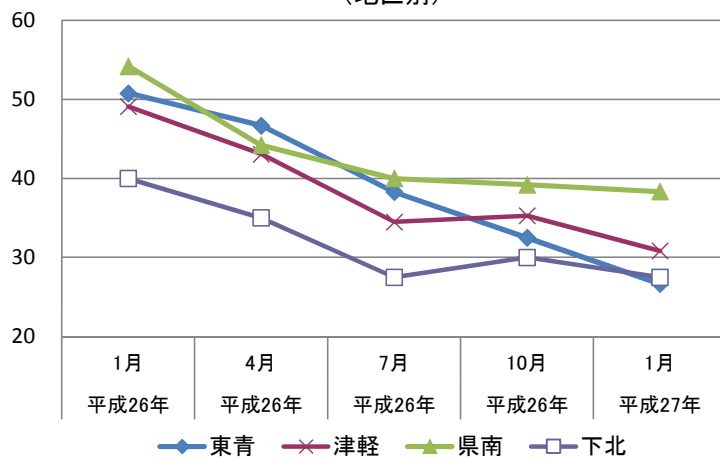




③地区別DI

	平成26年 1月	平成26年 4月	平成26年 7月	平成26年 10月	平成27年 1月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>50.3</b>	<b>43.7</b>	<b>36.6</b>	<b>35.1</b>	<b>31.5</b>	<b>▲ 3.6</b>
東青	50.8	46.7	38.3	32.5	26.7	▲ 5.8
津軽	49.1	43.1	34.5	35.3	30.8	▲ 4.5
県南	54.2	44.2	40.0	39.2	38.3	▲ 0.9
下北	40.0	35.0	27.5	30.0	27.5	▲ 2.5

景気の現状判断DI  
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	衣料専門店	10、11月商店街で実施したセールスイベントは好調であった、実売上に連動する催しであることから季節の節目での消費は旺盛、大型店も催事物は良好と聞いている、停滞は不要不急な物の購入を控えているのかも。
		一般飲食店	とにかく天気の影響が大きかったです。景気はいろんな気が関わってきますが、天災はすごいですね。今後とりもどす為がんばっていかねばと思います。
		レストラン	年末年始はそれなりだったが、これからか。
		観光名所等	入込数は今年度4月～11月まで8ヵ月連続して前年同月を上回ったが、12月一転下向き感強まる。
		美容院	「生活費が増え、給与が上がらない」などの声が多く聞かれます。
		住宅建設販売	思った以上に、消費税の影響。
	津軽	コンビニ	年金だけでは暮らして行けないとお客様がよく言ってます。でも体がきつくなるのでアルバイトは出来ない等が非常に多いです。
		一般小売店	9月頃から売上也盛り返してきたのだが、12月の大雪で12月の売上が悪かった。食品ほか必需品の値上がりでお客様の家計が厳しそうである。
		一般飲食店	近頃、いろいろ話をし、耳にするのが国会、消費税、食材値上げ、これで景気の良さにつながらない気がします。
		観光型ホテル・旅館	年々日帰り、夜日帰り、宿泊を伴う宴会で飲み物の持ち込みが多くなり、規定の持込料をいただけない事が多い。又、こっそり持ち込むお客様もいます。個人のお客様の場合、宿泊日が誕生日や何かしらの記念日だからとサービスを要求する件数が増えました。(ネットでは記念日プラン等お得なプランが有ります。)
		観光名所等	雪害、悪路、特に観光バスの長距離の料金大幅値上げ、北陸新幹線の開通。
		旅行代理店	12月からの降雪の影響により、毎日が雪との闘いでたいへんだという声が聞こえてきます。
ガソリンスタンド		バターがない。輸入品が上がり米だけが安くなっている。	
住宅建設販売	例年の時期に比べると消費税の影響か。価格高騰の影響か。来店、見学会に来てくれるお客様が少ない。		
県南	コンビニ	高くなった電気代は下がらないのでしょうか。	
	百貨店	都内の百貨店はインバウンド等の効果もあって堅調だが、地方百貨店は苦戦している。	
	乗用車販売	中小企業の賃下げのうわさが聞こえて来る。	
	衣料専門店	八戸中心街では、中心街と市民がタッグを組み「まちぐみ」プロジェクトが立ち上がり約2ヵ月近くになります。ユニークな取組のようで市内の数店舗にかなり変化が見られこれからが楽しみです。	
	一般小売店	八戸港では、1月に最大級のタンカー(ガス)が入港し、街中(商店街)ではわからない所で大きな力とお金が動いている。	
	一般飲食店	地方は賃上げとか、そんな恩恵には全然ない。その事をもっと中央にアピールできないだろうか。	

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	タクシー	今回は少し角度を変えて観たつもりですが結果的にはいつもと大きな変化はない。八戸では人口が減っているのに、スーパー等が増えている。年末にオープンしたスーパーは「消費税込み」の値段で、24時間営業、たくさん買い物客が集まっているようだ。
		美容院	地方創生の政策にかなりの予算が計上され、各自治体の自由度が高そうなので大いに期待しているところです。
	下北	一般飲食店	さまざまな人々にお聞きしてもよいところは一つもないみたいです。これからは。
企業	東青	食料品製造	燃料価格低下への期待はありますが、消費税増税の影響が県内企業の業績改善の遅れになっているのではないのでしょうか。
		建設	アベノミクスの本質は「格差の肯定」である事を再確認しました。自らの力には限界がありますが、競争に勝つべく努力するしかありませんね。
	津軽	飲料品製造	耐久消費財等の買い控え等。
		電気機械製造	アベノミクスの効果は地方へは及んでいないことを実感します。
		建設	メディア等で今年は景気がよくなると言っているが、本当に疑問。賃上げも大手や優良企業は出来ると思うが、実質はどうか。たとえ賃上げしても、それ以上に電気料金等物価が値上がりしたらどうもならない。
		広告・デザイン	豪雪により実務労働時間が減少しており、県・市町村において除排雪をもっとスピード感をもって積極的にできないものなのか、社外での業務に影響が大きい。
	県南	電気機械製造	20～30年前に誘致企業が来たが、今縮小や撤退の話の出ているところがある。助成金を出しても結局逃げられてしまうのは大変残念。行政も地元企業や地元で起業する人に手厚い支援をするようにしてはどうかと考える。
		経営コンサルタント	都市圏と地方との格差が大きくなっている。好況企業や公務員などは景気が良いが、一次産業従事者や零細企業従事者は常に不況です。
		広告・デザイン	歴史のある企業の倒産など思いもよらない企業、会社が厳しい状況にあるのが浮き彫りになった。
	下北	食料品製造	12月選挙あり、雪あり、悪天候ありと最悪の12月商戦でした。